



ETK1745045D

光ケーブル接続箱 CFJB06B-UC 工法書

住友電気工業株式会社

ご使用前に、この工法書を良くお読みの上、内容を理解してから、ご使用下さい。
お読みになった後も、この工法書は大切に保管してください。

安全上のご注意 ~安全にご使用いただくために必ずお守りください~

この工法書には、人体への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用いただくために守っていただきたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次に示すとおりになります。内容を良くご理解のうえ本文をお読みください。

本成端箱に関する安全上のご注意	
危険 右記内容無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高いことが想定されます。	—
警告 右記内容無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 本品は、落下などの無いように、確実に固定して下さい。 施工時には、部品及び使用工具が落下しないようにご留意ください。
注意 右記内容無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性および、物的損害の可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 刃物などのご使用時には十分に注意してください。 本品の組立には、本製品以外の部品を使用しないでください。 綿の付けトルクを規定した作業は、その規定を守って作業をしてください破損の原因となります。
お願い 右記の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の性能を発揮出来ない可能性及び、機能停止をまねく可能性が想定されます。	<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバの配線は、許容曲げ半径30mm以上をお守りください。 融着作業は、ご使用の融着接続機の取扱説明書をご覧ください。 本品の、解体・組立・導入ケーブルの追加などの作業を行う際は、別途部品の交換が必要と場合がありますので、事前に弊社・営業担当までご相談ください。

1. 設置における注意点

以下に注意点を記します。

- 壁面（木板）へ木ねじを打ち込む際は、ぐらつきがないようにしっかり打ち込んで下さい。
- 壁面へ固定する際は、適した箇所を選定し、強度上問題のある壁面には打ち込まないようにして下さい。

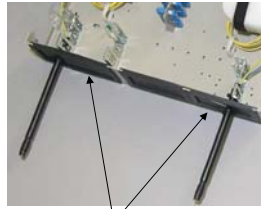
1

2. 蓋の開け方



①箱の上側を矢印の方向に持ち上げ ②①の状態では矢印の方向に動かす ③全体を矢印の方向に持ち上げて開け

3. 光ケーブル及び光ファイバコードの導入出方法

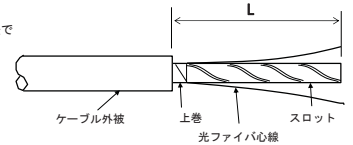


・防塵カバーに切り込みを入れてください。
切り込みから導入ケーブル及びコードを入れて下さい。

4. 光ケーブルの処理

①スロットケーブルの処理

(1) 光ケーブルを接続箱に引き込み、図及び表に示す寸法で外被を剥ぎ取り、上巻を除去して下さい。



2

48Cの場合

ケーブル引き込み番号	L (mm)
1	1300
2	1330
3	1430
4	1400

120Cの場合

ケーブル引き込み番号	L (mm)		
	トレイA	トレイB	トレイC
1	1280	1500	1720
2	1310	1530	1750
3	1410	1630	1850
4	1380	1600	1820

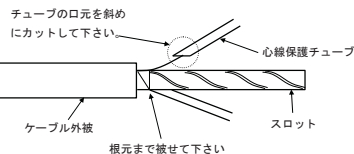
128Cの場合

ケーブル引き込み番号	L (mm)		
	トレイA	トレイB	トレイC
1	1280	1500	1720
2	1310	1530	1750

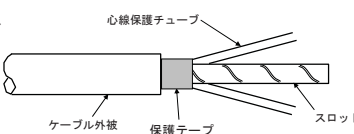
例)2番からトレイBに引き込み場合
L=1530mm

※本図はCFJB06B-UC<120>を示します。

(2) 光ファイバ心線に心線保護チューブを被せて下さい。

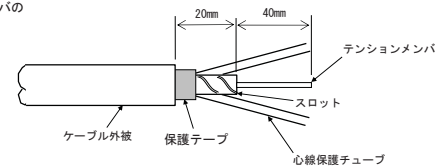


(3) 心線保護チューブ上に保護テープを2回以上巻き付けて、チューブを固定して下さい。



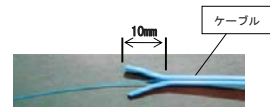
3

(4) 下図寸法にてスロットの切断とテンションメンバの剥ぎだしを行って下さい。

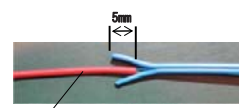


②ドロップケーブル、インドアケーブルの処理

(1) ケーブルを10mm程度剥いてください。



(2) 心線に、心線保護チューブをTM部と5mm程度重なるくらいまで通して下さい。
※心線保護チューブはオプションです。



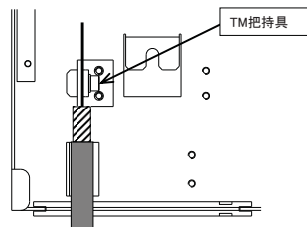
(3) TM部で心線保護チューブを軽くはさみ、その上から保護テープを巻き、固定して下さい。



5. 光ケーブル固定方法

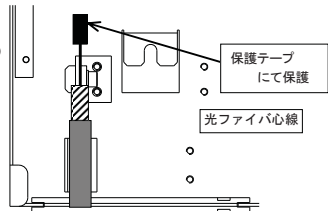
①ケーブルの固定

(1)~(3)の手順で作業して下さい。

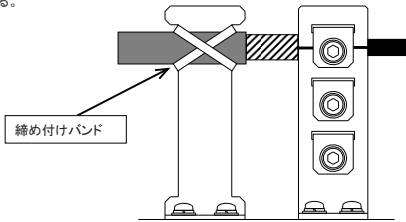


4

(1) テンションメンバ (以下TM) をテンションメンバ把持具 (以下TM把持具) に取り付け。
(TM把持具は対辺4mmの六角レンチで締め付けてください。)

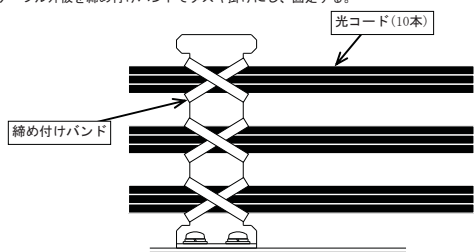


(2) TMの先端部を保護テープにて保護する。



(3) ケーブル把持金具にケーブル外被を締め付けバンドでタスキ掛けにし、固定する。

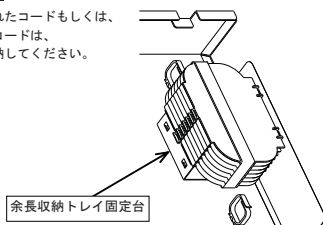
②光コードの固定



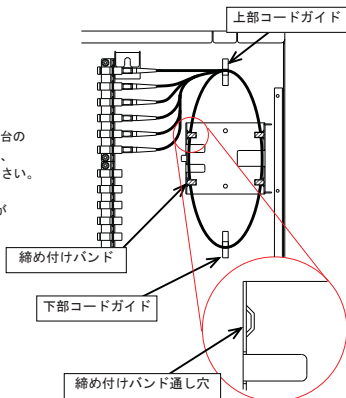
・10本ずつ、ケーブル把持金具に締め付けバンドでタスキ掛けにし、固定する。

7. コードの余長処理

(1) 余長収納トレイから導出されたコードもしくは、コード把持具等で把持したコードは、余長収納トレイ固定台に収納してください。



(2) コードを上部・下部のコードガイドに通し、余長収納トレイ固定台の内部で余長の処理を行い、上部のコードガイドからアダプタの方へコードを導出してコネクタ接続をしてください。

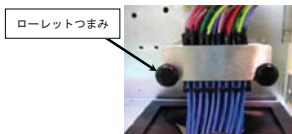
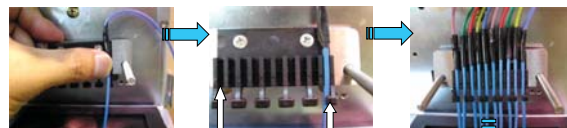


コネクタ付Fコードの場合は、余長収納トレイ固定台の内部側に締め付けバンド用の通し穴がありますので、そこで締め付けバンドにて分岐部の固定を行ってください。

(※本製品LCタイプでは右図とアダプタパネルの配置が異なりますが、余長処理方法に違いはありません。)

③ドロップケーブル、インドアケーブルの固定

ケーブルを溝に縦向きに押し込んで固定してください。1枚のプレート (把持具) に12本分把持できます。
(取付け方法: 写真参照)



6. 融着接続部

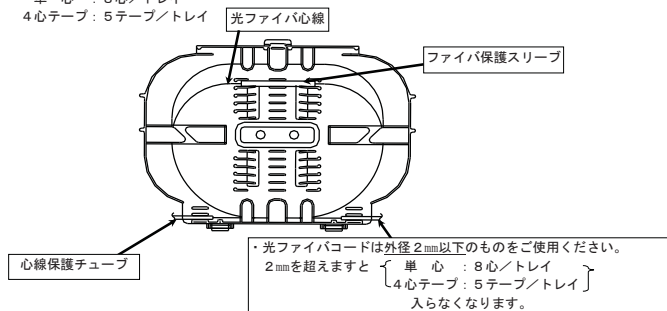
<余長収納トレイ>

*コネクタ付きコードの場合は、使用しません。

* 収納心数

単心 : 8心/トレイ

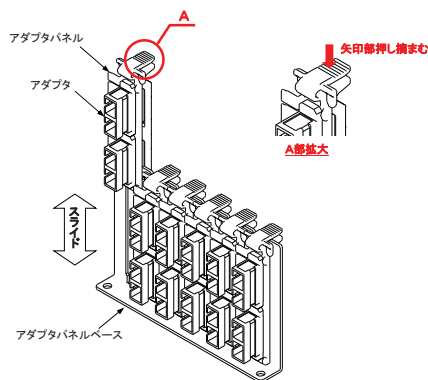
4心テープ : 5テープ/トレイ



・光ファイバコードは外径2mm以下のものをご使用ください。2mmを超えますと単心 : 8心/トレイ、4心テープ : 5テープ/トレイ 入らなくなります。

8. コネクタの挿抜

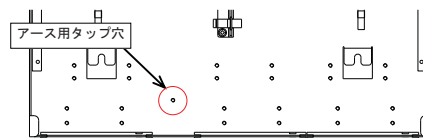
(1) アダプタパネルを最大まで引き出してください。なお、アダプタパネルを引き出す際は、必ずA部を挿んだ状態で、パネル飛び出し防止機能を解除しながらスライドしてください。
(LCタイプにはA部の溝がありませんので、そのままスライドしてください)
※誤った方法で引き出した場合、引き出し機能が損なわれる、またはアダプタパネルが破損する場合があります。



(2) アダプタパネルを持った状態で、コネクタを挿抜してください。

(3) アダプタパネルを収納する際も引き出す際と同様に、A部を挿んだ状態でアダプタパネルをスライドし、収納してください。

9. 接地方法 (必要に応じて実施してください)



・上図のタップ穴に、M4ネジにて接地を行ってください。